

高周波通電(High Frequency Conduction)を応用した 歯内療法

～焼灼を基盤とする治療法の提供～

【ポイント】

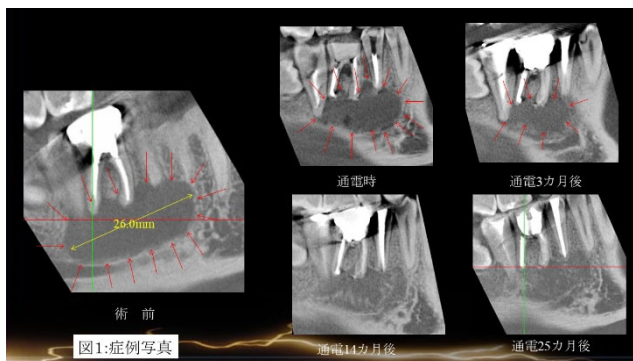
難治性の根尖性歯周炎に対し、高周波の通電による焼灼を行うことで**治癒に導く**。

通常の歯内療法では**治療が及ばない細菌感染部位に対しても、高周波は到達が可能である**。

来院回数の減少にも繋がり、**患者の負担軽減も期待できる**。

【概要】

歯の中の歯髄と呼ばれる組織に「細菌」が感染すると、歯髄は壊死に陥る。その状態を放置すると、細菌は歯の根（歯根）の先から歯の外へと侵出し、歯根の先に炎症と骨破壊を生じる。この歯根の先の炎症状態を「**根尖性歯周炎**」と呼び、噛んだ時や押さえた時の痛みの原因となる。根尖性歯周炎が小さければ、歯内療法と呼ばれる歯根内の機械的・化学的な細菌の除去により治癒が得られる。しかしながら、歯根内に存在する細菌数が多い場合には、根尖性歯周炎が広範囲に及び治癒が得られるまでに長期間を要することがある。また治癒が得られない場合には、拔牙が適応となる。このように、**歯内療法により根尖性歯周炎を治癒に導くためには、歯根内からの細菌の確実な除去が重要**となる。しかしながら、通法の歯内療法では狭い空隙や歯根の枝分かれなど、治療が及ばない部位が生じてしまう。そこで北海道大学病院むし歯科では、「**Root ZX3**」という機器を使用し、歯根内に高周波を通電させる治療を実施している。高周波は**空隙や枝分かれを含む歯根全体に通電**するため、それらに存在する細菌であっても**焼灼により除去**することができる。このような高周波通電を応用した細菌除去により、**可能な限り歯の保存を試みる治療を提供**している（図 1）。また当教室では**クラウドファンディング**を実施しており、RootZX3 による治療のほか、細菌感染部位を可視化する**デンタルフォトリニクス**を応用した**歯科治療の普及**を目指している（クラウドファンディングホームページ <https://readyfor.jp/projects/restorative-dentistry>）。



お問い合わせ先

北海道大学病院むし歯科 戸井田 侑（といだ ゆう）

T E L 011-716-1161 F A X 011-706-4878 メール rinnum@den.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学病院総務課総務係（〒060-8648 札幌市北区北 14 条西 5 丁目）

T E L 011-706-7631 F A X 011-706-7627 メール pr_office@huhp.hokudai.ac.jp